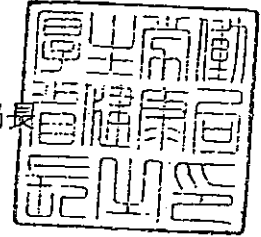




健発第1143号  
平成13年12月25日

社団法人日本臓器移植ネットワーク理事長 殿

厚生労働省健康局長



腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について

標記基準については、「臓器提供者（ドナー）適応基準及び移植希望者（レシピエント）選択基準について」（平成9年10月16日健医発第1371号）により実施されているところであるが、今般、当該基準を一部改正し、別添のとおりとするので、よろしくお取り計らい願いたい。

なお、改正後の当該基準については、各医療機関におけるレシピエント適応評価及び再登録等に要する期間を考慮し、平成14年1月10日より適用するものとする。

(別添)

## 腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準

### 1. 前提条件

(1) ABO式血液型の一致

(2) リンパ球直接交叉試験（全リンパ球又はTリンパ球）陰性

### 2. 優先順位

(1) 搬送時間（阻血時間）

地 域	点 数
同一都道府県内（注）	12点
同一ブロック内	6点

\* 移植希望者の登録地域は移植希望施設の所在地（都道府県）とする。

(2) HLA型の適合度

DR座の適合数 (ミスマッチ数)	A座及びB座の適合数 (ミスマッチ数)	点数
0	0	14点
0	1	13点
0	2	12点
0	3	11点
0	4	10点
1	0	9点
1	1	8点
1	2	7点
1	3	6点
1	4	5点
2	0	4点
2	1	3点
2	2	2点
2	3	1点
2	4	0点

(3) 待機日数

待機日数 (N) ≤ 4014日 : 待機日数ポイント = N/365点

待機日数 (N) > 4014日 : 待機日数ポイント = 10 + log<sub>1.74</sub>(N/365 - 9)点

(4) 小児待機患者

小児待機患者 (16歳未満) については14点を加算する。

3. 具体的選択法

移植希望者 (レシピエント) の選択順位については、2. の (1) ~ (4) の合計点数が高い順とする。ただし、これらの条件が同一の移植希望者 (レシピエント) が複数存在した場合には、臓器搬送に要する時間、医学的条件等の事項に配慮する。

また、PRA検査が可能な場合はPRA検査陰性を満たすこととする。

(注1) 地域は、原則として、都道府県、ブロック内他都道府県とする。ただし、地域の実情を踏まえ、(社)日本臓器移植ネットワークにおいて複数の都道府県を統合したサブブロックを設置することも可能とする。

(注2) 1年以内に移植希望者 (レシピエント) の登録情報が更新されていることを必要条件とする。

(注3) C型肝炎抗体陽性ドナーからの移植は、C型肝炎抗体陽性レシピエントのみを対象とするが、リスクについては十分に説明し承諾を得られた場合にのみ移植可能とする。

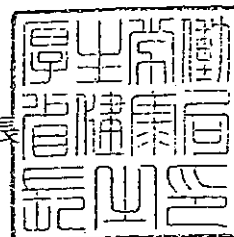
(注4) 新ルールの下での状況について、実施後1年のデータが蓄積された時点で新ルールを検討するが、必要があれば追加すべき事項について検討する。



健 発 第 9 8 4 号  
平成13年10月10日

社団法人日本臓器移植ネットワーク理事長 殿

厚生労働省健康局長



膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正及び腎臓移植希望者  
（レシピエント）選択基準における型の取扱いについて

標記基準については、「臓器提供者（ドナー）適応基準及び腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準について」（平成13年8月16日健発第798号当職通知）により、また、標記取扱いについては、「腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準の運用細則」（平成9年10月16日健医発第1371号保健医療局長通知）及び「腎臓移植希望者（レシピエント）の選択におけるグループ抗原保有者とスプリット抗原保有者との関係等について」（平成12年1月7日健医疾発第2号保健医療局エイズ疾病対策課長通知）により実施されているところであるが、その見直しについては、厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会の各作業班においてそれぞれ検討がなされ、同委員会において、これら作業班からの報告が了承されたところである。

同委員会における了承を踏まえ、今般、標記基準について一部改正し、別添1のとおりとするので、よろしくお取り計らい願いたい。また、標記取扱いについては「腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準の運用細則」及び「腎臓移植希望者（レシピエント）の選択におけるグループ抗原保有者とスプリット抗原保有者との関係等について」は廃止し、別添2のとおりとする。

なお、改正後の基準等については平成13年11月1日より適用するものとする。

腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準におけるHLA型の取扱い

1. グループ抗原（親抗原）とスプリット抗原（子抗原）の取扱い

(1) ドナーのHLA型がスプリット抗原である場合において、

- 1) レシピエントのHLA型がドナーと同一のスプリット抗原であるか、そのグループ抗原である場合、ドナーとレシピエントのHLA型が0ミスマッチであるものとして取り扱うが、その際、スプリット抗原保有者をグループ抗原保有者より優先させることとし、
- 2) レシピエントのHLA型がドナーと同一グループ内の異なるスプリット抗原（兄弟）である場合は、1ミスマッチであるものとして取り扱う。

例 1) ①0ミスマッチ、②0ミスマッチ、③1ミスマッチとして取扱うが、その際、①と②においては②を優先させることとする。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	DR 1 1	DR 5
②	DR 1 1	DR 1 1
③	DR 1 1	DR 1 2

(2) ドナーのHLA型がグループ抗原である場合において、レシピエントのHLA型がドナーと同一のグループ抗原であるか、又はそのスプリット抗原である場合、0ミスマッチであるものとして取扱う。

例 2) ①、②いずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	DR 5	DR 5
②	DR 5	DR 1 1

- (3) ただし、ドナーのHLA型がA9, A10, B17及びB70 (グループ抗原) かそれらに属するスプリット抗原である場合には、上記1(1)を適用せず、グループ抗原とそのスプリット抗原者をいずれも同等として取扱う。

例3) ①、②、③いずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	A24	A9
②	A24	A24
③	A24	A23

<理由> A9, A10, B17及びB70 (グループ抗原) かそれらに属するスプリット抗原である場合に、1(1)を適用しない理由

- ① 血清学検査で同定することが技術的に困難なスプリット抗原であること
- ② 日本人のHLA型としては極めて稀なスプリット抗原であるために、その他のスプリット抗原として同定されている場合とそれらの抗原の属するグループ抗原として同定されている場合との間に実質的に差異が無いこと等

## 2. ダブル抗原とブランクの取扱い

- (1) ドナーのHLA型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①同一抗原2個、②同一抗原1個+ブランク、③同一抗原1個+他の抗原1個である場合、①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。

例4) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	A9, A9	A9, A9
②	A9, A9	A9, - (ブランク)
③	A9, A9	A9, A2

- (2) ドナーのHLA型にブランクが存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③いずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	B7, - (ブランク)	B7, - (ブランク)
②	B7, - (ブランク)	B7, B7
③	B7, - (ブランク)	B7, B13

注釈)

1. レシピエント選択基準におけるHLA型の取扱いについては、HLA型に関する検査技術を始め、関係分野の進歩を踏まえて、今後も適宜見直し等を実施することとする。
2. 上記の細則実施時期に関して、HLA型の取扱いについては、コンピューター・システム上の対応、検査体制の充実等を踏まえて、実施体制が整い次第できるだけ早期に実施することとする。

抗原一覧 (A座)

グループ抗原 (親抗原)	スプリット抗原 (子抗原)
A 1	
A 2	
A 3	
A 9	A 2 3 A 2 4
A 1 0	A 2 5 A 2 6 A 3 4 A 6 6
A 1 1	
A 1 9	A 2 9 A 3 0 A 3 1 A 3 2 A 3 3 A 7 4
A 2 8	A 6 8 A 6 9
A 3 6	
A 4 3	
A 8 0	

\* 1 非独立子抗原は、親抗原と同等とする。  
 (例) A11.1、A11.2は、いずれもA11として扱う

\* 2 孫抗原は、独立子抗原と同等とする。  
 (例) A26.1、A26.2、A26.3は、いずれもA26として扱う



抗原一覧 (B座)

グループ抗原 (親抗原)	スプリット抗原 (子抗原)
B 5	B 5 1 B 5 2
B 7	
B 8	
B 1 2	B 4 4 B 4 5
B 1 3	
B 1 4	B 6 4 B 6 5
B 1 5	B 6 2 B 6 3 B 7 5 B 7 6 B 7 7
B 1 6	B 3 8 B 3 9
B 1 7	B 5 7 B 5 8
B 1 8	
B 2 1	B 4 9 B 5 0
B 2 2	B 5 4 B 5 5 B 5 6
B 2 7	
B 3 5	
B 3 7	
B 4 0	B 6 0 B 6 1
B 4 1	
B 4 2	
B 4 6	
B 4 7	
B 4 8	
B 5 3	
B 5 9	
B 6 7	
B 7 0	B 7 1 B 7 2
B 7 3	
B 7 8	
B 8 1	

抗原一覧 (DR座)

グループ抗原 (親抗原)	スプリット抗原 (子抗原)
DR 1	
DR 2	DR 15 DR 16
DR 3	
DR 4	
DR 5	DR 11 DR 12
DR 6	DR 13 DR 14
DR 7	
DR 8	
DR 9	
DR 10	
DR 14	

(案)

健 発 第 号  
平成16年〇月〇日

社団法人日本臓器移植ネットワーク理事長 殿

厚生労働省健康局長

「膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについて」の一部改正について

膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準及び、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについては、「膵臓移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正及び腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱いについて」（平成13年10月10日 健発第984号）別添2に基づき実施されているところであるが、同通知における HLA 型のミスマッチ数の考え方は、レシピエントが有していない HLA 型で、かつ、ドナーが有している HLA 型の種類の数とするというものであり、この原則に基づき、同通知別添2を改正し、別添のとおりとする。

貴殿におかれては、当該取扱いを遵守して、適正な医療の推進に努められたい。

## 臓器移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱い

## 1 グループ抗原（親抗原）とスプリット抗原（子抗原）の取扱い

(1) ドナーのHLA型がスプリット抗原である場合において、

- 1) レシピエントのHLA型がドナーと同一のスプリット抗原であるか、そのグループ抗原である場合、ドナーとレシピエントのHLA型が0ミスマッチであるものとして取り扱うが、その際、スプリット抗原保有者をグループ抗原保有者より優先させることとし、
- 2) レシピエントのHLA型がドナーと同一グループ内の異なるスプリット抗原（兄弟）である場合は、1ミスマッチであるものとして取り扱う。

例1) ①0ミスマッチ、②0ミスマッチ、③1ミスマッチとして取扱うが、その際、①と②においては②を優先させることとする。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	DR11	DR5
②	DR11	DR11
③	DR11	DR12

(2) ドナーのHLA型がグループ抗原である場合において、レシピエントのHLA型がドナーと同一のグループ抗原であるか、又はそのスプリット抗原である場合、0ミスマッチであるものとして取扱う。

例2) ①、②いずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	DR5	DR5
②	DR5	DR11

(3) ただし、ドナーのHLA型がA 9、A 10、B 17及びB 70（グループ抗原）かそれらに属するスプリット抗原である場合には、上記 1 (I) を適用せず、グループ抗原とそのスプリット抗原者をいずれも同等として取扱う。

例 3) ①、②、③いずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	A 2 4	A 9
②	A 2 4	A 2 4
③	A 2 4	A 2 3

〈理由〉 A 9、A 10、B 17及びB 70（グループ抗原）かそれらに属するスプリット抗原である場合に、1 (I) を適用しない理由

- ① 血清学検査で同定することが技術的に困難なスプリット抗原であること
- ② 日本人のHLA型としては極めて稀なスプリット抗原であるために、その他のスプリット抗原として同定されている場合とそれらの抗原の属するグループ抗原として同定されている場合との間に実質的に差異が無いこと等

## 2 ダブル抗原とブランクの取扱い

(1) ドナーのHLA型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①ドナーと同一の抗原 2 個、②ドナーと同一の抗原 1 個+ブランク、③ドナーと同一の抗原 1 個+他の抗原 1 個である場合、①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。

また、ドナーのHLA型がダブル抗原であり、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、いずれも 1 ミスマッチとして取扱う。

例 4) ①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

④、⑤、⑥はいずれも 1 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	A 9、A 9	A 9、A 9
②	A 9、A 9	A 9、 - (ブランク)
③	A 9、A 9	A 9、A 2
④	A 9、A 9	A 2、A 1 1
⑤	A 9、A 9	A 2、 - (ブランク)
⑥	A 9、A 9	A 2、A 2

(2) ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

また、ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、すべて1ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。  
④、⑤、⑥はいずれも1ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

	ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
①	B 7、- (空白)	B 7、- (空白)
②	B 7、- (空白)	B 7、B 7
③	B 7、- (空白)	B 7、B 13
④	B 7、- (空白)	B 8、- (空白)
⑤	B 7、- (空白)	B 8、B 8
⑥	B 7、- (空白)	B 8、B 13

注釈)

- 1 レシピエント選択基準におけるHLA型の取扱いについては、HLA型に関する検査技術を始め、関係分野の進歩を踏まえて、今後も適宜見直し等を実施することとする。
- 2 上記の細則実施時期に関して、HLA型の取扱いについては、コンピューター・システム上の対応、検査体制の充実等を踏まえて、実施体制が整い次第できるだけ早期に実施することとする。

抗原一覧（A座）

グループ抗原（親抗原）	スプリット抗原（子抗原）
A 1	
A 2	
A 3	
A 9	A 2 3 A 2 4
A 1 0	A 2 5 A 2 6 A 3 4 A 6 6
A 1 1	
A 1 9	A 2 9 A 3 0 A 3 1 A 3 2 A 3 3 A 7 4
A 2 8	A 6 8 A 6 9
A 3 6	
A 4 3	
A 8 0	

\* 1 非独立子抗原は、親抗原と同等とする。

（例）A 11. 1、A 11. 2は、いずれもA 11として取扱う

\* 2 孫抗原は、独立子抗原と同等とする。

（例）A 26. 1、A 26. 2、A 26. 3は、いずれもA 26として取扱う

抗原一覧 (B座)

グループ抗原 (親抗原)	スプリット抗原 (子抗原)
B 5	B 5 1 B 5 2
B 7	
B 8	
B 1 2	B 4 4 B 4 5
B 1 3	
B 1 4	B 6 4 B 6 5
B 1 5	B 6 2 B 6 3 B 7 5 B 7 6 B 7 7
B 1 6	B 3 8 B 3 9
B 1 7	B 5 7 B 5 8
B 1 8	
B 2 1	B 4 9 B 5 0
B 2 2	B 5 4 B 5 5 B 5 6
B 2 7	
B 3 5	
B 3 7	
B 4 0	B 6 0 B 6 1
B 4 1	
B 4 2	
B 4 6	
B 4 7	
B 4 8	
B 5 3	
B 5 9	
B 6 7	
B 7 0	B 7 1 B 7 2
B 7 3	
B 7 8	
B 8 1	



抗原一覧 (DR座)

グループ抗原 (親抗原)	スプリット抗原 (子抗原)
DR 1	
DR 2	DR 1 5 DR 1 6
DR 3	
DR 4	
DR 5	DR 1 1 DR 1 2
DR 6	DR 1 3 DR 1 4
DR 7	
DR 8	
DR 9	
DR 1 0	
DR 1 4	

## 新旧表

旧	新																																	
<p>腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱い</p> <p>2. ダブル抗原とブランクの取扱い                      (1) ドナーの HLA 型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①同一抗原 2 個、②同一抗原 1 個+ブランク、③同一抗原 1 個+他の抗原 1 個である場合、①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取り扱う。</p> <p>例 4) ①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 15%;">ドナーの HLA 型</th> <th style="width: 15%;">レシピエントの HLA 型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A9 A9</td> <td>A9 A9</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A9 A9</td> <td>A9 - (ブランク)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A9 A9</td> <td>A9 A2</td> </tr> </tbody> </table>		ドナーの HLA 型	レシピエントの HLA 型	①	A9 A9	A9 A9	②	A9 A9	A9 - (ブランク)	③	A9 A9	A9 A2	<p>臓器移植希望者（レシピエント）選択基準における HLA 型の取扱い</p> <p>2. ダブル抗原とブランクの取扱い                      (1) ドナーの HLA 型がダブル抗原であり、レシピエントの抗原が同じ座において、①ドナーと同一の抗原 2 個、②ドナーと同一の抗原 1 個+ブランク、③ドナーと同一の抗原 1 個+他の抗原 1 個である場合、①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取り扱う。</p> <p><u>また、ドナーの HLA 型がダブル抗原であり、レシピエントの HLA 型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、いずれも 1 ミスマッチとして取扱う。</u></p> <p>例 4) ①、②、③はいずれも 0 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。<u>④、⑤、⑥はいずれも 1 ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 15%;">ドナーの HLA 型</th> <th style="width: 15%;">レシピエントの HLA 型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A9 A9</td> <td>A9 A9</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A9 A9</td> <td>A9 - (ブランク)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A9 A9</td> <td>A9 A2</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A9 A9</td> <td>A2 A11</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>A9 A9</td> <td>A2 - (ブランク)</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A9 A9</td> <td>A2 A2</td> </tr> </tbody> </table>		ドナーの HLA 型	レシピエントの HLA 型	①	A9 A9	A9 A9	②	A9 A9	A9 - (ブランク)	③	A9 A9	A9 A2	④	A9 A9	A2 A11	⑤	A9 A9	A2 - (ブランク)	⑥	A9 A9	A2 A2
	ドナーの HLA 型	レシピエントの HLA 型																																
①	A9 A9	A9 A9																																
②	A9 A9	A9 - (ブランク)																																
③	A9 A9	A9 A2																																
	ドナーの HLA 型	レシピエントの HLA 型																																
①	A9 A9	A9 A9																																
②	A9 A9	A9 - (ブランク)																																
③	A9 A9	A9 A2																																
④	A9 A9	A2 A11																																
⑤	A9 A9	A2 - (ブランク)																																
⑥	A9 A9	A2 A2																																

(2) ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
① B7、- (空白)	B7、- (空白)
② B7、- (空白)	B7、B7
③ B7、- (空白)	B7、B13

(2) ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が1つ以上存在する場合には、すべて0ミスマッチとして取扱う。

また、ドナーのHLA型に空白が存在し、レシピエントのHLA型にドナーと同じ抗原が存在しない場合には、すべて1ミスマッチとして取扱う。

例5) ①、②、③はいずれも0ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

④、⑤、⑥はいずれも1ミスマッチとして取扱う。優先度は同一である。

ドナーのHLA型	レシピエントのHLA型
① B7、- (空白)	B7、- (空白)
② B7、- (空白)	B7、B7
③ B7、- (空白)	B7、B13
④ B7、- (空白)	B8、- (空白)
⑤ B7、- (空白)	B8、B8
⑥ B7、- (空白)	B8、B13